

常任委員会の調査活動（12月議会報告）

**特産品の開発と
ごみ処理を調査**

実施日／平成 17 年 7 月 29 日
10 月 24 ～ 26 日
調査先／長野県茅野市、東京都青梅市、
千葉県習志野市

産 業 建 設

●特産品の開発
【岩魚の冷燻製・温燻製の製造】

燻製作りは、スモークハウスとソミュール液を作り、製造方法をマスターすればすぐにできる。初期投資も少額で済み、特産品として売り出す場合のリスクも最小限である。

村内でも岩魚の養殖が行われ、新鮮な原材料の調達も可能であり、今後、付加価値を付けた特産品の開発、産業の振興を図るべきと考えられる。



●ごみ処理について

青梅市では、10 年からごみの減量化、最終処分場の延命化を目的として、一般家庭ごみの有料化と、個別収集への変更を同時に実施し、ごみ排出量は減少され、意識やモラルも向上した。

本村で実施する場合は、十分な住民への説明、理解を得ることが必要不可欠である。

習志野市は、コークスの価格高騰、委託運営費の増加などに対応し、実施している。

村でも溶融炉施設を有する自治体間での情報交換や事例を調査研究し、処理経費の節減に早急に取り組む必要がある。

また、農業用廃プラスチックや産廃の処理も、人体、環境に与える影響を十分調査検討し、地元住民の意向を確認し対応するべきである。

**小中学校の学力向上対策と
芸術文化振興を調査**

実施日／平成 17 年 7 月 8 日、
10 月 26 日～28 日
調査先／滝沢南中学校、滝沢小学校、
東京都北区、神奈川県藤野町

教 育 民 生

●小中学校の学力向上対策
【滝沢南中学校、滝沢小学校】

学校施設の実態から、すぐに少人数学級の導入は困難な学校が多く、加配による授業と平行することが当面望ましいと考える。

【東京都北区】

子どもの居場所づくりとして地域寺子屋事業をはじめ、非常勤講師も加わり、学校で習った内容への復習、補習、宿題などの学習の場となっている。

●芸術文化振興

【藤野「教育芸術」特区について】

豊かな自然環境を求め芸術家や陶芸家、舞台演出家などが移り住むなど、ふるさと芸術構想への下地があった。これを背景に、芸術、教育を中心としたまちの活性化策が打ち出されている。

芸術に限らず優れた才能をもった方々の環境を整えば、独自の取り組みで特区の申請が可能と思われるが、芸術に関しての特区の実現は難しいと思われる。

【シュタイナー学園】

特区による学校が設置されることに伴い、人口の増加と、それに伴う経済効果、さらには、シュタイナー教育と藤野町教育との交流と連携による教育効果など、多種多様の効果が期待される。地域の特徴を活かした構造改革特区を本村においても地域と経済の活性化のためにも、何らかの特区の申請があつて然るべきと考える。



**自治基本条例と
組織再編などを調査**

実施日／17 年 11 月 9 日～11 日
調査先／石川県金沢市、加賀市、羽咋市

総 務

●自治基本条例
【羽咋市】

自治基本条例を念頭におき、住民協働のまちづくり活動の支援として包括的支援活動拠点や具体的支援策を示す時期にきている。地域の中での活動母体の位置付けを明確にし、支援を担保できる法的措置なども必要と考える。

●行政組織機構

【加賀市】

組織の再編にあたっては、事務事業の機能、役割、必要性、重要度などを総点検し、課題を整理して、効率的に目標の達成ができわかりやすい組織とすることが必要である。手続きの簡素化、OA 化、外部委託など中長期の定数管理計画を視野に入れての編成となるべきである。



●指定管理者制度

【金沢市】

指定管理者制度は、住民サービスの向上と経費の縮減を目的としているが、地域のサービス低下や自治体の公的責任の放棄とならない管理運営となるよう、住民参画も含め業績の評価など監視できる手法を考えるべきである。

継 続 調 査 事 項

- ごみ処理（溶融炉施設）について
- 特産品の開発と産業振興について
- 道路行政について

- 幼稚園・保育園の現状調査について

- 中長期財政計画について